

みなぎる核兵器廃絶の願い

長崎の爆心地から一万二千人の訴え

原水爆禁止一九八三年世界大会は、東京での国際会議のあと、舞台は広島から長崎へと移り、八月九日の世界大会（長崎）で、海外代表と全国から参加した一万二千人が、核兵器廃絶への運動をいっそう発展させることを誓いあつて閉幕しました。この大会には、三池労働組、三池主婦会からも六人の代表が参加しました。

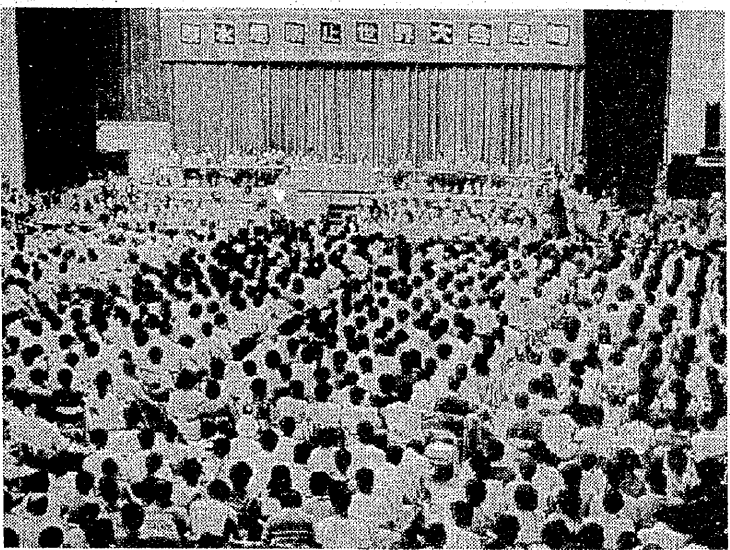
平和への挑戦

ミッドウェー入港

核兵器廃絶と全面軍縮をめざす連帯を求めて一に入りました。この分科会には最高二千五百人が参加し、一人ひとりが行動を起こし、国際的に連帯して立ち上がるよう訴えた発言が目立ちました。

長崎に原子爆弾が投下されて三十八年目の明日にして、八月八日朝、横須賀を母港としているアメリカ海軍の空母ミッドウェー（四万五千トン）が、駆逐艦などをともなう佐世保入港を強行するとう事象があり、参加者の一部が急遽佐世保にかけつけて抗議行動を行いました。

大会は十六会場テーマごとの分科会が開かれ、私たちは第五分科会「世界の反核、草の根運動と」に参加しました。



「核兵器の完全禁止を」と1万2,000人の参加者で開かれた原水爆禁止世界大会（国際体育館）



活発な討論がおこなわれた、「世界の反核・草の根運動との連帯を求めて」の分科会（市民会館）

西ドイツ代表は、中曽根首相のウィリアムスバーク・サミットでの発言（不沈空母など）や、広島記念式典参加への抗議行動に参加した経緯を報告しながら、欧州への中距離ミサイル「パーシングII」配備計画「阻止のために、共同の行動を起こそう」と連帯を求めました。

タイチの代表は、フランスが二十一年間に九十七回の核実験を行い、一九八一年からは中性子爆弾の実験を行っていることに抗議して行動していることを報告しました。

日本の代表も、唯一の被爆国民としての立場から広島・長崎の実相を訴え、核戦争を阻むための国際連帯を訴えました。

命を生み出す

婦人の力で平和を

三十八回目の原爆忌を迎えた長崎で、地球の非核化を求める世界中の人びとが参加して原水爆禁止世界大会が八月八日、九日の二日間開かれましたが、三池主婦会が

古田さん、熊本県評議員の会として平川が熊本県代表団の一員として参加しました。

八月七日、午後五時からの「原水爆禁止大会・長崎の集い」で国際大会報告、広島大会報告、基調報告を受けて、翌日の世界大会に臨みました。

当日は十時から開かれた「婦人」と平和の分科会に参加しました。代表委員の紀平ゆきさん（婦人労働者同盟）から、八三年国際会議



右の写真は、長崎市油木町長崎商業高校内にある慰霊碑。長崎市内には原爆慰霊碑や原爆祈念碑、平和像など六十をこえるものが建立されています。

昭和58年7月負傷者数調べ

	死亡	重傷	軽傷	微傷	保安部	合計
四山	0	2	0	2	13	17
三川	0	0	0	2	6	8
有明	0	0	0	2	4	6
本所	0	0	0	0	0	0
港務	0	0	0	0	0	0
計	0	2	0	6	23	23

※「保安部」は保安部教育のこと。
※前月比で重傷は減りましたが、合計では同数となっています。
※操業25日、稼働延人員153,387人、出炭350,000トン。

スローガン

- 一、長期抵抗統一路線を基調に、職場と地域闘争を強化し、三池炭鉱全労働者の統一闘争の前進を勝ち取る。
- 一、炭鉱労働者の生命と権利を守る闘いを土台に、石炭産業の国有化をめざす政策闘争を推進しよう。
- 一、CO・遺族闘争を推進し、労災・職業病の闘いと連帯しながら、CO闘争勝利にむけて頑張ろう。
- 一、自民党・財界の、国民を犠牲にする行政改革と対決し、総選挙と八四闘争を勝利しよう。
- 一、闘つ総評路線を守り、右翼的再編の労働戦線統一に反対しよう。

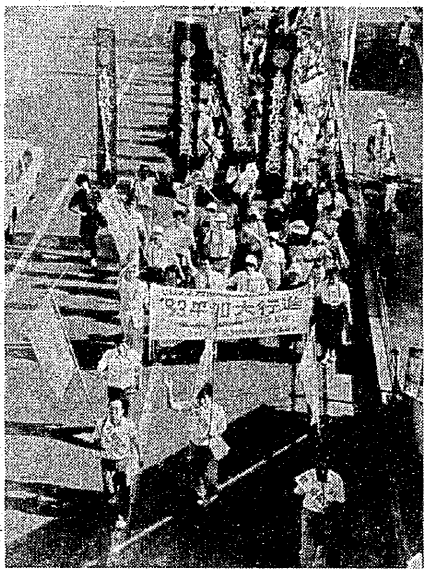
戦後最悪といわれる中曽根反動内閣は、ひたすら軍拡路線を暴走し、国民のもっとも切実な要求である、教育・福祉などを大幅に切り捨てている。

また、エネルギー政策においても、炭鉱労働者の要求をきかずに、国内炭産の石炭政策を、いつそう鮮明にしている。

大会宣言

さきに、夕張新炭鉱の再開発をめぐって、いったん再建の約束をした政府は、宇野連座大臣の就任を機にこれを反古にし、再開断念を強行した。その結果、再開に期待をこめ、失業の苦しみで耐えつづけてきた千数百人の夕張新炭鉱の仲間とその家族は、明日への希望もなく路頭に迷っている。われわれは、同じ炭鉱労働者として、このような

（一万人が参加した最終行進）



九日の閉会総会は、国際体育館で約一万二千人が参加し、原爆が投下された十一時二分に黙とうを捧げ、核廃絶へ燃えるような熱気の中で「長崎アピール」が採択されました。

（この項、平川弘子事務局長）